

## 5 特別支援教育

特別支援教育は、児童一人ひとりを大切にし、一人ひとりにあった手づくりの教育であり、教育の原点とも言える。また、障がいを個性のひとつ・その子らしさと理解し、周りの関わり方や捉え方で、障がいが障がいでなくなると考える。

### (1) 目標

- ① 児童一人ひとりの特性に応じた教育を行い、心身の調和的発達を図ると共に、集団生活に適応していくための能力や態度を養う。
- ② 障がいに対する理解を深め、障がいに関係なく一人ひとりの良さを認め合い、共に支え合う子どもを育てる。

### (2) 特別支援学級での指導

- ・ 個別の支援計画・個別の指導計画による個別の学習・生活指導
- ・ 基本的な生活習慣の確立  
    ・ 健康な体づくり
- ・ 集団生活への参加と理解  
    ・ 姿勢、動作、運動の基本的技能の育成
- ・ 社会生活に必要な言語の理解力や表現力の育成
- ・ 社会自立に必要な知識、技能、態度、習慣の育成
- ・ 五感を活用した概念の形成  
    ・ 経験を広げ自信をもつことによる情緒の安定

### (3) 交流及び共同学習の推進

- ・ 教育課程、教育活動における交流、共同学習の位置づけ
- ・ 学習や活動の参加の仕方、子ども同士の関わり方

### (4) 本年度の取り組み

- ・ 特別支援学級研究授業（校内研修）  
    ・ 交流、共同学習の場の設定
- ・ 校内委員会の実施  
    ・ 地域研修会や研究会の参加